

2019年度（第16回）全道女子シニアクラブ対抗親善競技

開催日：2019年9月12日（木）

開催場所：真駒内カントリークラブ（空沼コース）

主催：北海道女子ゴルフ協会

後援：北海道ゴルフ連盟

真駒内カントリークラブ

本競技においては、R & AとUSGAが承認したゴルフ規則（2019年1月施行）と下記の競技の条件及びローカルルールを適用する。

別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、競技の条件またはローカルルールの違反の罰は、2打。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
2. 使用クラブの規格
「ゴルフ規則4.1a適合クラブ」を適用する。（ゴルフ規則25P参照）
3. 使用球の規格
「ゴルフ規則4.2a適合球」を適用する。（ゴルフ規則28Pを参照）
4. ホールとホールの間での練習禁止
「ゴルフ規則5.5ホールとホールの間での練習禁止」（ゴルフ規則34P参照）は次のように修正する。
2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
* 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
* 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。（違反の罰2打）
5. スコアカードの提出
本競技においてエリア方式を採用する
6. 競技終了時点
本競技は競技委員長長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭で囲む。また青杭を立て、白線でその限界を標示する。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭、黄線、レッドペナルティーエリアは赤杭、赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とする。
6. 8番ホールの横にあるマンリフト並びに防護ネットがプレーの障害となる場合には、プレーヤーは無罰にて指定のドロップ区域に球をドロップすることができる。
7. 8番ホール、13番ホール、17番ホールにおいて、球がレッドペナルティーエリアにあることが分かっているか、ほぼ確実な場合追加の選択肢として1罰打を加え、指定ドロップ区域に球をドロップすることができる。

8. 14番ホールアウトオブバウンズのラインを越えていった球は、球が向こう側のコースに止まっている場合でもアウトオブバウンズの球とする。

注 意 事 項

1. 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、受付場所付近及びティーイングエリア付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. パー3のホールに限り、パターをする前に後続組が来ている場合は打たせること。
4. プレーヤーはプレー進行のため、乗用カートを移動することができる。
5. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を空けないように注意すること。
委員会からの注意を受けた後に回復されなかった場合、ゴルフ規則5.6 不当の遅延を適用する。

競技委員長 末廣 和子